

平成 29 年度 入試
個別学力試験問題(後期日程)

総合問題

(法文学部言語文化学科)

注意

1. 問題紙は指示があるまで開いてはいけません。
2. 問題紙は 10 ページ、解答用紙は 2 枚、下書き用紙は 2 枚です。指示があってから確認し、解答用紙の所定の欄に受験番号を記入してください。
3. 答えはすべて解答用紙の所定のところに記入してください。
4. 答えは横書きにしてください。
5. 解答用紙は持ち帰ってはいけません。
6. 試験終了後、問題紙および下書き用紙は持ち帰ってください。

1

次の文章を読んで、後の問い合わせ(問1～問5)に答えなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(檜垣立哉『^{とばく}賭博/偶然の哲学』より。一部改変)

(注) 超越論的な：物事の存在を可能とする条件となるような
自己再帰性：自らの行為から生じるマイナスの影響が自らに返ってくる
ということ

問 1 下線部(a)～(e)のカタカナを、適切な漢字に直しなさい。

問 2 筆者はなぜ下線部①のように考えるのか、本文の第一段落の内容に即して
説明しなさい。

問 3 筆者はなぜ下線部②のように考えるのか、本文に即して例をあげて説明し
なさい。

問 4 空欄 ア , イ に入る語を、いずれも漢字2字で本文中から
抜き出して答えなさい。

問 5 下線部③について、筆者は、現代社会では責任が限りなく賭けに近いもの
になっていると考えている。なぜ筆者はそのように考えているのか、本文に
即して詳しく説明しなさい。

2 次の英文を読んで、後の問い合わせ(問1~問6)に答えなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(Christopher Bigsby, "In Conversation with Kazuo Ishiguro" より。一部改変)

(注) *A Pale View of Hills* 『遠い山なみの光』

An Artist of the Floating World 『浮世の画家』

The Remains of the Day 『日の名残り』

The Unconsoled 『充たされざる者』

When We Were Orphans 『わたしたちが孤児だったころ』

anchor つなぎ留める

grammar school イギリスで、学力上位の生徒に大学進学準備の教育
をする中等学校

tram 市街路面電車

phonetic alphabet 表音文字

literate 読み書きのできる

go 成功

問 1 下線部①を、文中の this と they が指す内容を示しながら、日本語に訳しなさい。

問 2 下線部②の that が指す内容を、本文に即して日本語で説明しなさい。

問 3 空欄 ③ に入れるのに適切な内容となるよう、以下の語句を並べ替えなさい。

is, in, directly, who, the child, is, charge, the mother, of

問 4 下線部④で述べられていることの具体例を、本文に即して日本語で説明しなさい。

問 5 下線部⑤の具体例を、本文に即して日本語で説明しなさい。

問 6 Ishiguro は、日本語の習得を難しくしている要因のうち「意味に関するもの」としてどのようなものがあると述べているか、本文に即して日本語で説明しなさい。